This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-21062

(43)公開日 平成7年(1995)1月24日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G06F 11/34

S 9290-5B

審査請求 有 請求項の数2 OL (全 6 頁)

(21)出願番号

:445

特願平5-159507

(22)出願日

平成5年(1993)6月29日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 樽澤 由美子

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株

式会社内

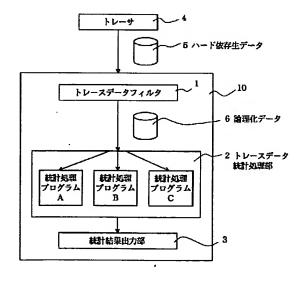
(74)代理人 弁理士 若林 忠

(54) 【発明の名称】 トレースデータ統計処理装置

(57)【要約】

【目的】 任意の解析の統計処理プログラムごとに行なわれているトレースデータの論理化処理を一括して行ない、また、このトレースデータ論理化変換処理について、トレース対象情報処理装置の交換ごとに行なわれている統計処理プログラムごとの論理化変換機能の変更を一括して行なう。

【構成】 ハード依存生データ5から統計処理に必要ないデータを除去し、統計処理に適さない形のハード依存データを統計処理に適する形に論理化変換する、各統計処理プログラムに共通のトレースデータフィルタを、トレースデータ統計処理部2とは独立して設ける。トレーサ4からから入力されたハード依存生データ5は、まず、トレースデータフィルタ1に入力されて論理化変換された後、統計処理プログラムで統計処理される。トレース対象情報処理装置を交換する場合は、トレースデータフィルタ1をトレース対象情報処理装置ごとに変更する。



(2)

特開平7-21062

【特許請求の範囲】

【請求項1】 トレース対象情報処理装置をトレースし たトレースデータを実行ステップごとに統計処理する1 ないし複数の統計処理手段を有するトレースデータ統計 処理装置において、前記トレースデータを取り込む入力 部と、骸入力部に取り込まれたトレースデータについ て、前記統計処理に必要ないデータを除去し、前記統計 処理に適さない形で取り込まれているハード依存データ を前記統計処理に適する形に変換する演算部と、該演算 部で処理されたデータを出力する出力部とからなる、前 10 記統計処理手段に共通のトレースデータフィルタが、`前 記統計処理手段より前記トレース対象情報処理装置側 に、前記統計処理手段とは独立して設けられていること を特徴とするトレースデータ統計処理装置。

1

【請求項2】 前記トレース対象情報処理装置ごとに前 記トレースデータフィルタが変更される請求項1記載の トレースデータ統計処理装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、トレース対象情報処理 20 装置を実行ステップごとにトレースしたトレースデータ について、任意の解析の統計処理を行なうトレースデー 夕統計処理装置に関する。

[0002]

【従来の技術】図5は、従来のトレースデータ統計処理 装置のプロック図である。このトレースデータ統計処理 装置は、トレーサ4からトレースデータが入力されるト レースデータ入力部7と、このトレースデータ入力部7 から出力されるデータを解析するトレースデータ統計処 理部2と、このトレースデータ統計処理部2によって解 30 析される結果を出力する統計結果出力部3とを有する統 計処理装置である。また、トレースデータ統計処理部2 は、データ論理化部8および統計処理部9をそれぞれ有 する複数の統計処理プログラムから構成されている。ト レースデータ入力部7は、トレース対象情報処理装置 (不図示)を実行ステップごとにトレースした、統計処 理に必要ないデータおよび統計処理に適さない形で取り 込まれているハード依存データが含まれているハード依 存生データ5をトレーサ4から受け取り、受け取ったハ ード依存生データ5をトレースデータ統計処理部2へ出 40 力する。トレースデータ統計処理部2は、複数の統計処 理プログラムA、BおよびC、例えば、任意のアドレス の実行頻度解析やデータのパターン解析などを行なう統 計処理等を有し、トレースデータ入力部7から入力され るハード依存生データ5を、複数の統計処理プログラム A、BおよびCごとに、その都度、統計処理プログラム で処理できるデータに変換(以下論理化変換という)し て統計処理する。ハード依存生データ5がトレーサ4か らトレースデータ入力部7に入力されると、トレースデ

データ統計処理部2へ出力する。トレースデータ統計処 理部2に入力されたハード依存生データ5は、任意の統 計処理プログラムに入力され、まず、入力された統計処 理プログラムのデータ論理化部8によって、ハード依存 生データ5中に含まれている統計処理に必要のないデー タが削除され、さらに、統計処理に適していないデータ が統計処理に適するデータに論理化変換される。その 後、統計処理部9に入力され、この統計処理部9によっ て統計処理が行なわれる。上記の如く統計処理されたト レースデータは、統計結果出力部3によって出力され る。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の トレースデータ統計処理装置は、トレーサから入力され るトレースデータを、ハード依存のデータが含まれてい る状態のまま、トレースデータ入力部からトレースデー 夕統計処理部へ出力しているため、トレースデータ統計 処理部の任意の統計処理プログラムごとにトレースデー 夕を論理化変換する機能(以下論理化変換機能という) を持たせている。そのため、トレースデータを統計処理 する場合は、任意の統計処理プログラムごとにトレース データの論理化変換を行なって統計処理をしている。ま た、トレース対象情報処理装置を別のトレース対象情報 処理装置に交換してトレースデータの統計処理を行なう 場合は、トレースデータ統計処理部の全ての統計処理プ ログラムについて、トレースデータを論理化変換する論 理化変換機能を、交換したトレース対象情報処理装置に 合う論理化変換機能に変更して、トレースデータを統計 処理している。このように、従来のトレースデータ統計 処理方法は、統計処理プログラムごとにトレースデータ を論理化変換したり、トレース対象情報処理装置が換わ る度に、トレースデータ統計処理部の全ての統計処理プ ログラムについて、論理化変換機能を変更するという非 効率的な処理が行なわれている。

【0004】本発明の目的は、任意の解析の統計処理プ ログラムごとに行なわれているトレースデータの論理化 変換を一括してでき、また、このトレースデータ論理化 変換について、トレース対象情報処理装置の交換ごとに 行なわれている統計処理プログラムごとの論理化変換機 能の変更を一括してできるトレースデータ統計処理装置 を提供することにある。

[0005]

【課題を解決するための手段】トレース対象情報処理装 置をトレースしたトレースデータを実行ステップごとに 統計処理する1ないし複数の統計処理手段を有するトレ ースデータ統計処理装置において、上記トレースデータ を取り込む入力部と、該入力部に取り込まれたトレース データについて、上記統計処理に必要ないデータを除去 し、上記統計処理に適さない形で取り込まれているハー ータ入力部7は、このハード依存生データ5をトレース 50 ド依存データを上記統計処理に適する形に変換する演算 (3)

特開平7-21062

. 3

部と、該演算部で処理されたデータを出力する出力部とからなる、上記統計処理手段に共通のトレースデータフィルタが、上記統計処理手段より上記トレース対象情報処理装置側に、該統計処理手段とは独立して設けられていることを特徴とする。

【0006】さらに、上記トレース対象情報処理装置ごとに上記トレースデータフィルタが変更されることを特徴とする。

[0007]

【作用】本発明によれば、トレーサからから入力される 10 ハード依存生データは、まず、トレースデータフィルタによって、不要なデータの削除およびハード依存データの論理化処理が行なわれ、その後、統計処理部の任意の統計処理プログラムによって統計処理される。また、トレース対象情報処理装置でとにトレースデータフィルタを変更して、交換されたトレース対象情報処理装置のハード依存生データを統計処理する。

[8000]

【実施例】次に、本発明の実施例について図面を参照し 20 て説明をする。

【0009】図1は、本発明の一実施例のトレースデータ統計処理装置のプロック図、図2は、トレースデータフィルタのプロック図、図3は、トレースデータフィルタの動作を表すフロー図、図4は、トレースデータフィルタの実行前と実行後のデータの一例である。

【0010】本実施例のトレースデータ統計処理装置 は、図1に示すように、トレースデータ統計処理部2の 前に設けられて、入力されるトレースデータを論理化変 換処理するトレースデータフィルタ1と、複数の統計処 30 理プログラムを有し、トレースデータフィルタ1から出 力されるトレースデータについて任意の統計処理を行な **うトレースデータ統計処理部2と、トレース結果統計処** 理部2の統計処理結果を出力する統計処理結果出力部3 とを有するトレースデータ統計処理装置で、後述する統 **計処理が行なわれる。ここで、トレースデータフィルタ** 1は、トレーサ4から入力されるハード依存生データ5 のうち、必要なデータを抽出して論理化変換した後、こ のトレースデータをトレースデータ統計処理部2へ出力 する。トレース結果統計処理部2は、複数の統計処理プ 40 ログラムA、BおよびC等を有していて、トレースデー タフィルタ1から出力されるトレースデータを、任意の 統計処理プログラムで統計処理を行なう。

【0011】トレーサ4からハード依存生データ5が入力されると、このハード依存生データ5を、まず、トレースデータフィルタ1に入力する。ここで、ハード依存生データ5は、後述する論理化変換処理によって、不要データ14が削除され、また、統計処理に適していないハード依存データ15が統計処理に適するデータに論理化変換される。その後、論理化変換処理された論理化デ 50

ータ6を、トレースデータ統計処理部2へ出力する。このとき、トレースデータ統計処理部2は、入力された論理化データ6を任意の統計処理プログラム、例えば実行頻度統計処理プログラムに入力する。統計処理プログラムは、入力された論理化データ6からデータを読み込んで統計処理を行ない、統計処理結果を統計結果出力部3へ出力する。統計結果出力部3は、統計処理結果を、例えば、プリンターから出力する。以下に、トレースデータフィルタ1の動作について図2および図3を用いて詳細に説明する。

【0012】本トレースデータフィルタ1は、図2に示

すように、ハード依存生データ5を読み込み、読み込ん だデータをトレース対象情報処理装置の実行ステップご とに1データずつ出力する入力部11、この入力部11 から出力されるデータを削除あるいは論理化する演算部 12、この演算部12で処理されるデータを論理化デー タファイルに出力する出力部13を有するものである。 【0013】トレーサ4からトレースデータフィルタ1 へ入力されたハード依存生データ5は、入力部11によ って読み込まれ(ステップS101)、トレース対象情 報処理装置の実行ステップごと1データずつ演算部12 へ出力される(ステップS102)。演算部12は、ま ず、入力されたデータに不要データ14があるかどうか を判断する (ステップS103)。もし、不要データ1 4があれば、この不要データ14を抽出して削除する (ステップS104)。次に、不要データ14が取り除 かれたデータにハード依存データ15があるかどうかを 判断する(ステップS105)。もし、ハード依存デー タ15があれば、このハード依存データ15を抽出し て、後述する論理化変換処理によって、統計処理に適す る論理化データ6に変換する(ステップS106)。そ の後、統計処理に適する論理化データ6のみが出力部1 3へ出力される(ステップS107)。さらに、上記出 力される論理化データ6中に不要データ14あるいはハ ード依存データ15がないか判断し、もし、この論理化 データ6中に不要データ14あるいはハード依存データ 15がある場合は、上述したステップS102へ戻る (ステップS108)。出力部13は、論理化データ6 を論理化データファイルへ出力する(ステップS10 9)。以下に、論理化変換処理について図4を用いて説 明する。

【0014】本論理化変換処理は、ハード依存生データ5を、トレースデータフィルタ1に通すことによって、統計処理に適する論理化データ6に変換するものである。ハード依存生データ5は、ハードウェアの都合で取り込まれてしまっている統計処理には必要のない不要データ14、およびハードウェアに依存した形で取り込まれている統計処理に適さない形のハード依存データ15を含んだデータである。そして、論理化データ6は、ハード依存データ15が論理化変換された論理化変換デー

(4)

特開平7-21062

5

タ16を含むデータである。ここで、ハード依存生データ5をトレースデータフィルタ1に入力すると、不要データ14は削除され、ハード依存データ15、例えば、「f5556666」は、統計処理に適するよう「1556666」の論理化変換データ16に変換される。このような論理化変換処理によって、ハード依存生データ5は、統計処理に適する論理化データ6に変換される。

【0015】次に、トレース対象情報処理装置を交換する場合について説明する。

【0016】トレース対象情報処理装置を別のトレース 対象情報処理装置に交換すると、この交換したトレース 対象情報処理装置をトレースしたハード依存生データ5 が、トレーサ4からトレースデータフィルタ1へ入力さ れる。このとき、トレースデータフィルタ1を、交換し たトレース対象情報処理装置に適合する論理化変換機能 を有するトレースデータフィルタに変更する。そうする と、交換したトレース対象情報処理装置をトレースした ハード依存生データ5は、変更されたトレースデータフ ィルタ1によって、上述した論理化変換処理同様の処理 20 が行なわれて論理化データ6に変換される。論理化デー タ6は、変更されたトレースデータフィルタ1からトレ ースデータ統計処理部2に出力されて任意の統計処理が 行なわれ、統計結果出力部3から出力される。このよう に、トレースデータフィルタ1を、交換するトレース対 象情報処理装置ごとに適合する論理化変換機能を有する トレースデータフィルタに変更して、それぞれのトレー ス対象情報処理装置について統計処理を行なう。以上の 如く、本実施例のトレースデータ統計処理方法は、トレ ースデータフィルタ1を統計処理部2の前に設けて、ト 30 レースデータの論理化変換を一括して行ない、さらに、 トレース対象情報処置装置ごとの論理化変換機能の変更 を一括して行なう。

[0017]

【発明の効果】以上説明したように、本発明のトレース データ統計処理装置を用いれば、ハード依存生データを 一括して論理化変換処理できるため、統計処理時間を短 縮するという効果がある。

【0018】さらに、本発明は、トレース対象情報処理 装置が換わった場合、トレースデータフィルタを変更す るだけで、簡単にトレースデータ統計処理を行なうこと ができるため、効率よく処理を行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

- 10 【図1】本発明の一実施例のトレースデータ統計処理装置のブロック図
 - 【図2】トレースデータフィルタのプロック図
 - 【図3】トレースデータフィルタの動作を表すフロー図
 - 【図4】トレースデータフィルタの実行前と実行後のデータの一例

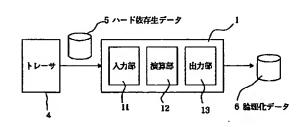
【図 5】 従来のトレースデータ統計処理装置のプロック 図

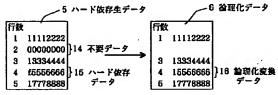
【符号の説明】

- 1 トレースデータフィルタ
- 2 トレースデータ統計処理部
 - 3 統計結果出力部
- 4 トレーサ
- 5 ハード依存生データ
- 6 論理化データ
- 7 トレースデータ入力部
- 8 データ論理化部
- 9 統計処理部
- 10 トレースデータ統計処理装置
- 11 入力部
- 12 演算部
 - 13 出力部
 - 14 不要データ
 - 15 ハード依存データ
 - 16 論理化変換データ

[図2]

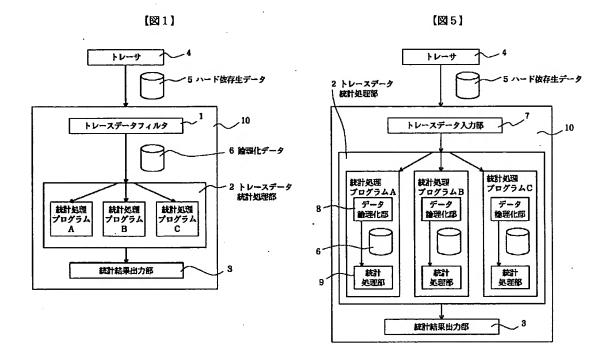
[図4]





(5)

特開平7-21062



F9 :..

(6)

特開平7-21062

【図3】

